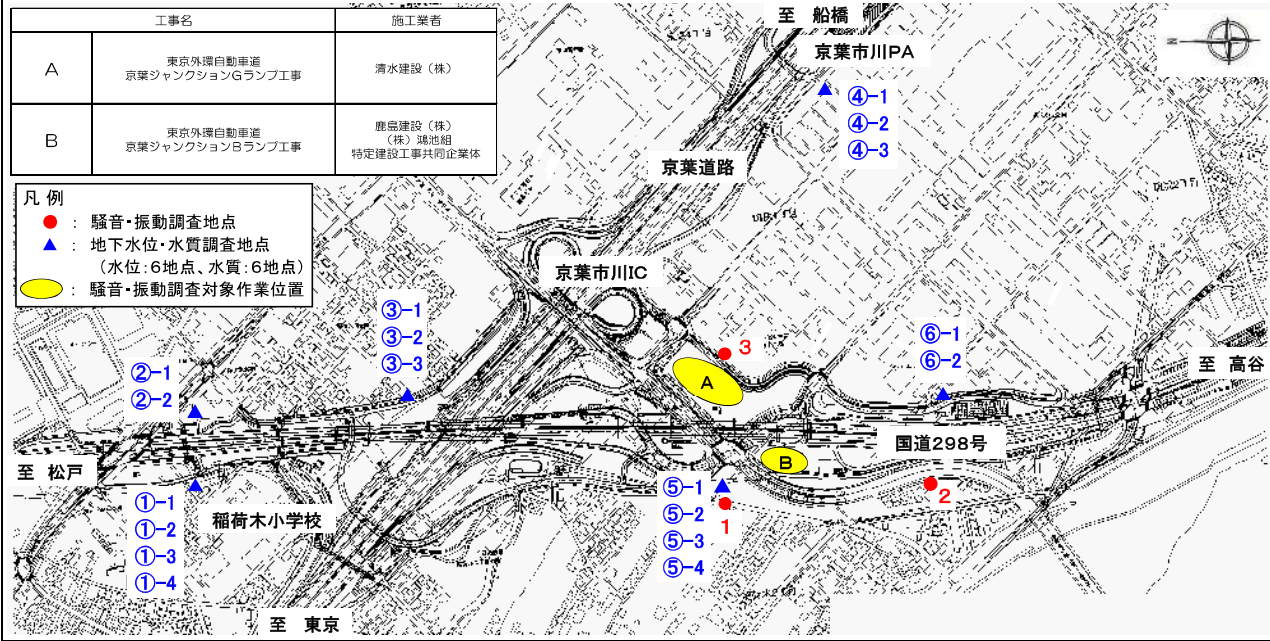


稲荷木・田尻・鬼高地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社 千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	36	1月20日
				昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	1月20日
				昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	64	46	1月20日
				昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R4年1月26日、27日、28日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.8	8.1	8.1	8.2	8.3	7.7	7.7	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.010	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
pH	7.6	8.1	7.9	6.7	7.5	8.0	8.1	7.4	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/L(リットル以下)とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水水位調査結果

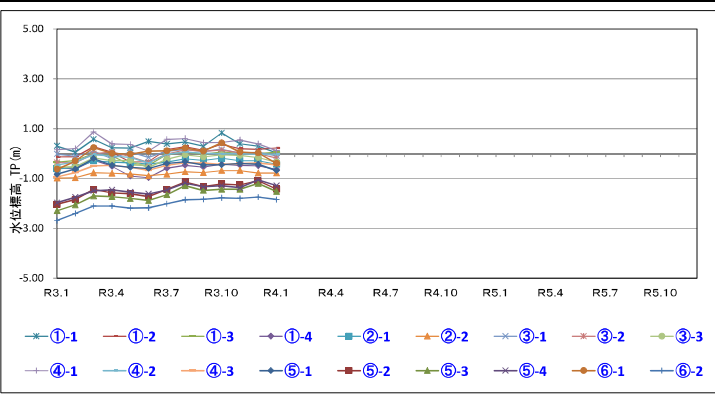
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	11月	0.395	0.195	0.010	-0.470	-0.281	-0.681	0.020	0.030	-0.080
	12月	0.295	0.175	0.000	-0.490	-0.281	-0.781	0.050	-0.010	-0.160
R4	1月	0.025	0.225	0.050	-0.630	-0.431	-0.781	-0.090	-0.180	-0.340
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2		
R3	11月	0.545	-0.010	-0.405	-0.400	-1.260	-1.430	-1.370	0.060	-1.795
	12月	0.385	-0.030	-0.375	-0.430	-1.090	-1.200	-1.050	0.030	-1.745
R4	1月	0.115	-0.030	-0.455	-0.680	-1.430	-1.520	-1.290	-0.390	-1.845

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

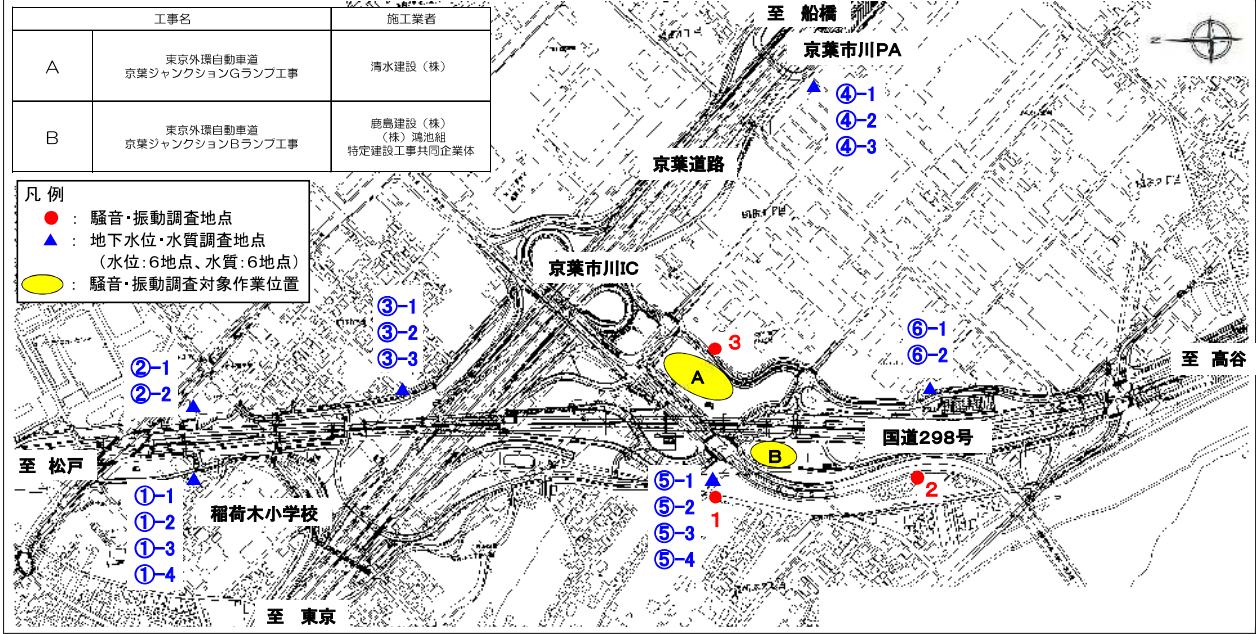


稲荷木・田尻・鬼高地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社 干渉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 干渉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 海地組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
 - : 騒音・振動調査対象作業位置

2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を測定しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	57	35	2月16日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	66	44	2月16日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	64	49	2月16日 昼間(8時~18時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R4年2月22日、24日、25日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.1	7.7	8.1	8.0	8.0	8.2	7.6	7.4	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.009	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.5	8.0	7.9	6.6	7.4	7.9	8.1	7.5	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水系イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水水位調査結果

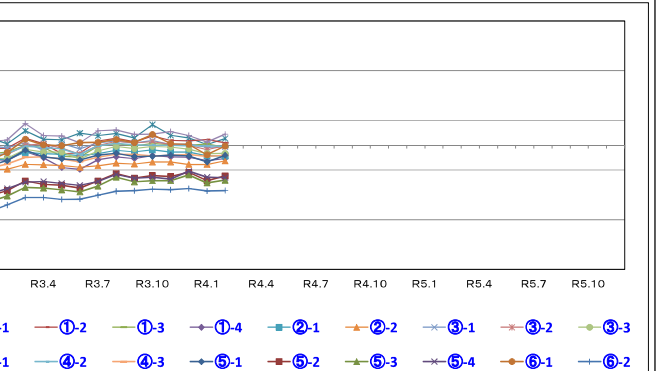
地下水水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	12月	0.295	0.175	0.000	-0.490	-0.281	-0.781	0.050	-0.010	-0.160
R4	1月	0.025	0.225	0.050	-0.630	-0.431	-0.781	-0.080	-0.180	-0.340
R4	2月	0.265	0.095	-0.080	-0.540	-0.431	-0.631	-0.070	-0.020	-0.330
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	12月	0.385	-0.030	-0.375	-0.430	-1.090	-1.200	-1.050	0.030	-1.745
R4	1月	0.115	-0.030	-0.455	-0.680	-1.430	-1.520	-1.290	-0.390	-1.845
R4	2月	0.445	-0.090	-0.405	-0.410	-1.240	-1.410	-1.310	-0.040	-1.825

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の3月の調査結果のお知らせ

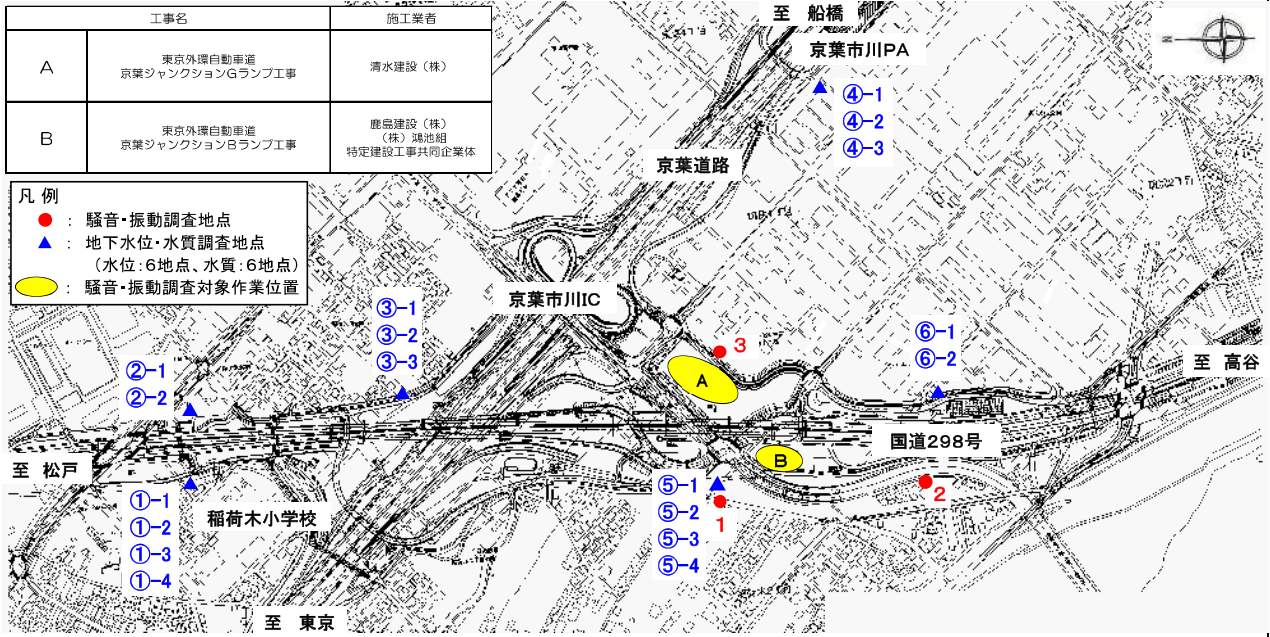
平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 進地組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点 (水位:6地点、水質:6地点)
 - : 騒音・振動調査対象作業位置



2.騒音・振動調査結果

騒音レベルL_{A5}および振動レベルL₁₀を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベルL _{A5} (dB)	振動レベルL ₁₀ (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	36	3月23日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	66	44	3月23日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	63	45	3月23日 昼間(8時~17時30分)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベルL_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値をL_{A5}と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベルL₁₀
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値をL₁₀と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R4年3月29日、30日、31日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
pH	7.2	8.0	8.2	8.1	8.2	8.3	8.0	7.7	8.1	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.013	0.005未満	0.005未満	0.005未満	

調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
pH	7.7	8.2	8.0	7.1	7.6	8.0	8.2	7.7	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/L(リットル以下)とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R4	1月	0.025	0.225	0.050	-0.630	-0.431	-0.781	-0.090	-0.180
	2月	0.265	0.095	-0.080	-0.540	-0.431	-0.631	-0.070	-0.330
	3月	0.365	0.555	0.340	-0.030	-0.181	-0.621	0.470	0.290

調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
R4	1月	0.115	-0.030	-0.455	-0.680	-1.430	-1.520	-1.290	-0.390
	2月	0.445	-0.050	-0.405	-0.410	-1.240	-1.410	-1.310	-0.040
	3月	0.475	0.020	-0.325	-0.330	-0.610	-0.760	-0.820	0.120

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

